経営者が語る
「経営の転機」
No.137

金属加工のワンストップサービスを確立
豊富な経験と確かな技術力で、お客様に〝ご満足〟を提供

株式会社インスメタル（代表取締役社長）**福井英人**

レーザ溶接&レーザ加工の『コンビニ』を標榜する幅広い産業分野、多くのお客様それぞれのご要望にノウハウと技術力、スタッフ体制で、きめ細かく対応

シャーリング業からレーザ加工業への転身

当社インスメタルは昭和37年、父・福井賢がそれまで勤務していた工場から独立し、東京・墨田区内に個人経営のささやかな町工場・福井シャーリングを興したのが、そもそもの始まりです。薄鋼板や表面処理鋼板の切断、折り曲げ加工など――いわゆるシャーリングを主業務に、当初は母と二人で工場を切り盛りしていたといいます。業界には通称〝鋼材屋さん〟と称される仲介業者がおり、そこからの受注で経営が成り立っていたと聞いています。

右肩上がりの景気に支えられていた面もあったのでしょうか。工場は比較的堅調に業績を維持し続け、わずか数年後の同42年には同区内の新工場へ移転し、同時に福井シャーリング㈱として法人化も果たします。

私がまだ、母のお腹にいた頃に立ち上げられ、以後、ずっと親しんできた工場だけに、きっと自分自身の一部のような感覚もあったのでしょう。高校卒業後、知人の関連会社などで社会人経験を積んだ後、どうしても家業に就きたいという思いが沸き上がってきたところで、父・賢へ直談判。結果的に、跡継ぎ含みでの入社を認めてもらえます。父としては、おそらく後継ができてうれしいという思いと、こんな業界に引きずり込んでいいのか、という迷いとが交錯していたのではないでしょうか。

私の入社から間もなく、父は展示会でその存在を知ったレーザ切断加工機に魅せられ、導入を決断します。

工場が生き延びていくためには、これしかない。息子・英人の代につないでいくためにも、この投資を惜しんではならない。そんな思いから、銀行を説得し設備を導入、二年後に千葉県浦安市・鉄鋼団地内への移転、レーザ切断専門工場への衣替えを決断します。

新拠店開設&「インスメタル」への社名変更

浦安の新工場には、当時まだ業界では馴染みの薄かったNC(数値制御)搭載のレーザ切断加工機が導入されました。取り扱い経験者が社内に誰もおらず、私がその任務を負うことに。東京駅近くの大型書店に通ってプログラミング専門書を買いあさり、ひたすら勉強。お客様からの発注内容を読み取りつつ、プログラミングに落とし込む作業を夜通しで続け、朝を迎えると今度は、機械を前に生産と立ち会い、品質を確かめる。そんな毎日が随分と長く、続いたものです。身体的には厳しかったものの、精神的にはとても充足していました。かけがえのない経験をさせてもらったのが、この頃であった気がします。

レーザ加工業への転換が功を奏し、社業は順調に伸展していきます。平成5年には、創業30周年記念事業として千葉県八街市内にレーザ専門工場を開設。また同時期、社名を㈱インスメタルへと改めました。Inspire（インスパイア＝息吹）＋Metal（メタル＝金属）からとった新社名は、その躍動感によって評判を呼び、営業活動にもリクルート活動にも好影響をもたらしてくれています。先代・賢が残してくれた功績の一つと言えるのではないでしょうか。

続いて平成11年には、本社／工場を現在地である千葉県浦安市鉄鋼通りへと移しています。同業関連が集積するこの地は、いろいろな面で社業にとってメリットをもたらしてくれています。

事業拠点ネットワークの拡充・再構築へ

私・英人が経営を引き継いだ平成15年以降、取り組みを進めてきた施策の一つに、事業拠点ネットワークの拡充・再構築があります。

生産拠点に関しては、先代時代の平成5年に開設した八街工場（千葉県八街市）に引き続き、同23年にはレーザ溶接センター（千葉県八街市）、同24年には本社・浦安第二工場（千葉県浦安市）、同28年には製缶センター（千葉県八街市）、さらに同29年には東北工場（宮城県利府町）が稼働開始。関東から東北まで広い範囲のお客様へ、密接した生産活動を展開しています。

営業拠点に関しても、先代時代の平成14年に開設した神奈川営業所（神奈川県厚木市）に引き続き、同25年には東北営業所（宮城県仙台市）を開設。本社営業部門（千葉県浦安市）と合わせた4拠点体制により、関東から東北までの広い範囲のお客様へ、身近に寄り添った営業サービスをお届けしています。

また営業をサポートするCADセンター機能として、平成21年に標茶（しべちゃ）CADセンター（北海道標茶町）を開設。本社（千葉県浦安市）、千葉（千葉県八街市）、東北（宮城県利府町）、ならびにベトナム（業務提携先）を加えた5拠点をネットワークで結び、お客様それぞれへ分かりやすい図面提案を行っております。

八街事業所が手狭になったため現在、千葉市緑区土気（とけ）の工業団地内への移転計画を推進中。本年令和5年の秋には、最新設備を導入した新拠店が稼働開始予定です。

金属加工ワンストップサービス体制の強化へ

いまや、さまざまな産業分野で不可欠な技術要素となったレーザ切断、レーザ溶接。私どもインスメタルは、豊富な経験と実績に裏打ちされたノウハウ、ならびに技術力でお客様のどのようなご要望に対してもお応えできるものと、自負いたしております。

保有するレーザは現在、CO_2レーザ、YAGレーザ、ファイバーレーザ、ダイレクトダイオードレーザのあわせて4種類13台。さらにウォータージェットまでも取り揃えて、薄板・厚板、難加工材、高精度加工と、あらゆる金属素材・加工形状に対応できる態勢を整えています。切断から溶接までの一貫加工も安心してお任せいただけます。さらに前述のとおり、近年、製缶のご要望にも対応できる態勢を整えました。金属加工のワンストップサービスをお届けしてまいります。

モノづくりの国内回帰傾向が進み、また道路や通信設備、建物など社会インフラの更新時期が訪れるなか、金属加工へのニーズは今後、ますます高まっていくものと予想されます。事業を取り巻く環境に恵まれていることは、私どもの強みといえるでしょう。

福井英人 ふくい ひでと

昭和38年生まれ、東京都墨田区出身。八千代松陰高校卒。複数の職業を経て同58年、20歳にして実父・福井賢が興し、経営する板金素材切断加工業・福井シャーリング㈱＝現㈱インスメタルに入社。レーザ切断機担当、千葉・八街事業所の立ち上げなどに携わった後、専務取締役として経営に参画。平成15年、40歳にして代表取締役社長就任。経営の一切を初代から譲り受け、現在に至る

社　　名	株式会社インスメタル
代 表 者	代表取締役社長　福井 英人
創　　業	昭和37年
設　　立	昭和42年
事業内容	レーザ切断加工、ウォータージェット切断加工、レーザ溶接、折り曲げ加工、製缶、一般鋼材販売
所 在 地	〒279-0025 千葉県浦安市鉄鋼通り1-7-1
電　　話	047-355-6511
U R L	http://www.insmetal.co.jp
資 本 金	5,000万円

取材協力：朝日生命 船橋支社 市川営業所